

5分で読める!理解する! あらすじで学ぶ家づくり

効率の良い収納空間

家づくりワンポイント・アドバイス

それならハウスメーカー
に相談しよう!

マイホームの完成後に、「もっと工夫すれば良かった」、「後悔した」といったケースが多いのが収納です。それなら経験豊富な住宅メーカーに相談する事をお薦めします。

使い勝手の良い収納は
快適な住まいの条件。
効率良く収納するコツを
教えてください!

A

Q

収納の 種類も知ろう!

住まいの収納は用途や場所によって様々です。
生活に密着した収納やデッドスペースを
活用した収納もあります。

WIC (ウォークインクローゼット)

主寝室に設けられる事の多い収納です。
主に衣類を収納する目的で設置されます。
大型なら衣替えシーズンにも便利です。

パントリー (食品庫)

キッチンのそばにあり食品を貯蔵するための
ロッカーです。食品を買いだめして保管する
目的で設置します。

リビングストレージ (リビング収納)

リビングは家族の集まる場所、使うところに
しようのが快適に暮らすための原則です。
お子さんが小さい時はリビングのなかの遊び
場としても使えます。

小屋裏収納

屋根裏部屋 (ロフト) を収納スペースとして
活用します。出し入れに多少手間がかかりますが、
季節ごとの収納に便利です。

階段下収納

階段の下のデッドスペースを活用した、
掃除機や日用品を収納できるスペースです。
本来は使えない空間の有効利用が可能です。

絶対的な収納量を確保 するなら納戸がおすすめ

持ち物の増加量はどんどん高まっています。昔
は、壊れるまで使う、不必要なものは買わない、と
いうのが当たり前でしたが、最近は暮らしが豊か
になった分、持ち物の量も増加しています。日常
の生活空間にあふれ出た持ち物で、收拾がつかない
ことに…なっていないでしょうか。

そんな大量の収納が必要ならば、中途半端に
飾り棚を兼ねたような収納を作るより、最初か
ら思いきって納戸を二室設けたほうが効率は、か
なり良いでしょう。いつまでも建てた当初のスッキ
リとした暮らしがしたいが、持ち物を新築したと

住まいづくりのなかで、「何を重視するか?」とい
う質問で、奥さまの要望が特に多いのが収納空間
です。新築したときは良くても、年月が経つに連
れモノが増え、収納ができなくなったという声を
聞きます。より効率の良い収納を考えた間取り
にすることが暮らしにゆとりをつくります。

「使うところにしまう」 というのが収納の基本

最も便利で片付けやすい収納の基本は「使う
ところにしまう」です。もちろん、そうなれば収
納の数も多く必要になります。例えば、キッチン
で使うものはキッチンに収納し、リビングで使う
ものはリビングに、子供室で使うものは子供室
に収納し、季節のもの、大型のもの、どこにも属
さないものはまとめて大きな収納へ…という
のが理想です。

また、ムダのない収納にしたいなら、最初から細
かいことは考えないで、いつそ引越しが済み、あ
る程度人の動きや物の位置関係がわかってから、
細かい棚をつくったり、収納の寸法にあわせてパイ
プハンガーを設けたりするのもいいでしょう。

きと同じ分量に保てる自信のない人には絶対お
すすめです。たとえば、寝室やリビングを少し狭
くしてでも、ゆとりをもって広くした場所が物の
置き場にしかないといった状況を脱すること
ができるでしょう。